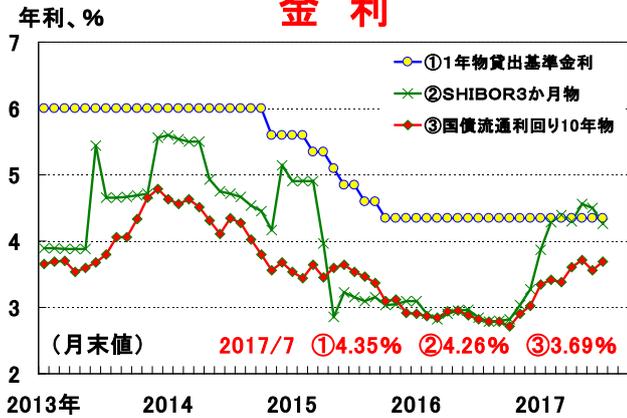


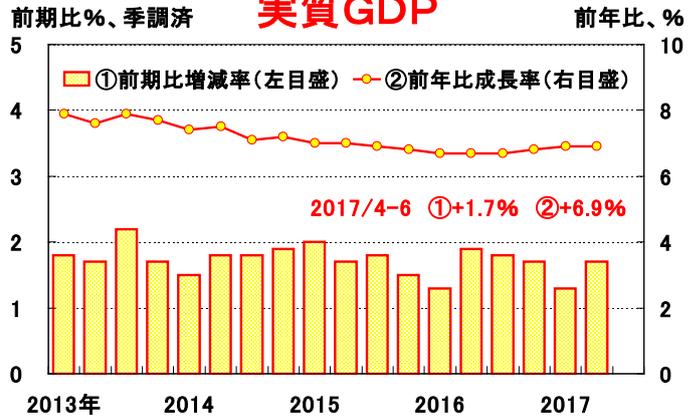
# グラフで見る中国経済 2017年8月号(No. 99)

2017年4～6月期の中国の実質GDP(国内総生産)は前年比+6.9%と、6四半期ぶりの高成長だった前期と同じ伸び率を維持した。4～6月期には、固定資産投資が前年比+8.3%と、大都市や地方中核都市における不動産取引の引き締め策の影響などを受けて、三四半期ぶりに増勢が弱まった。その一方で、個人消費の動向を表す小売売上高は4～6月期に前年比+10.8%と、家電や自動車販売の回復もあり、前期(同+10.0%)に比べて伸びが高まった。また、同期の通関輸出も同+9.1%と、先進国の景気回復などにより、増勢が強まった。

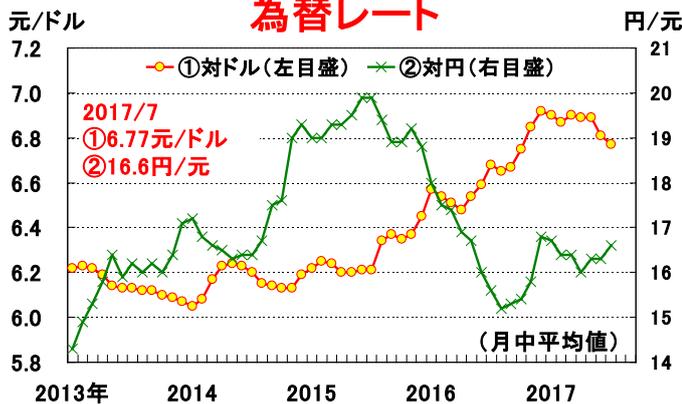
## 金利



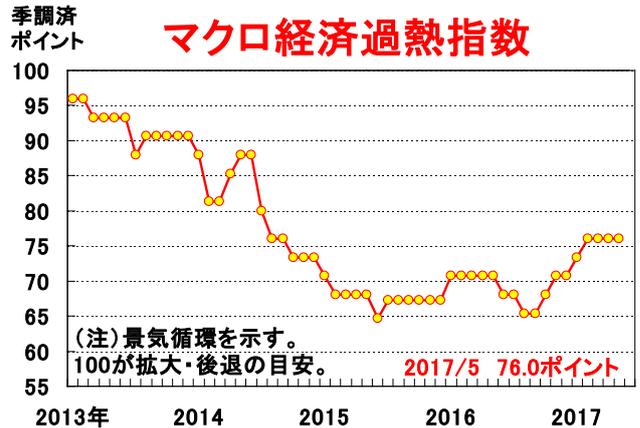
## 実質GDP



## 為替レート



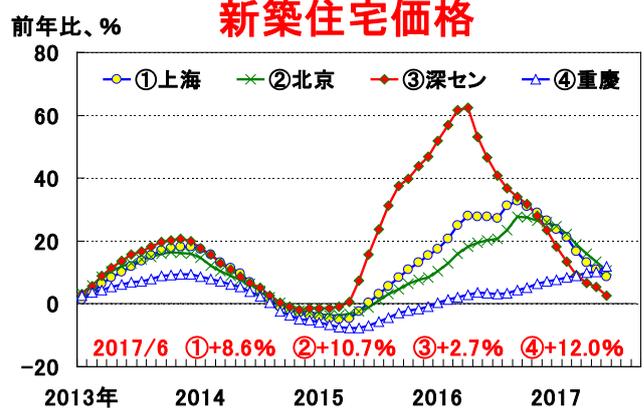
## マクロ経済過熱指数



## 上海総合指数(株価)



## 新築住宅価格

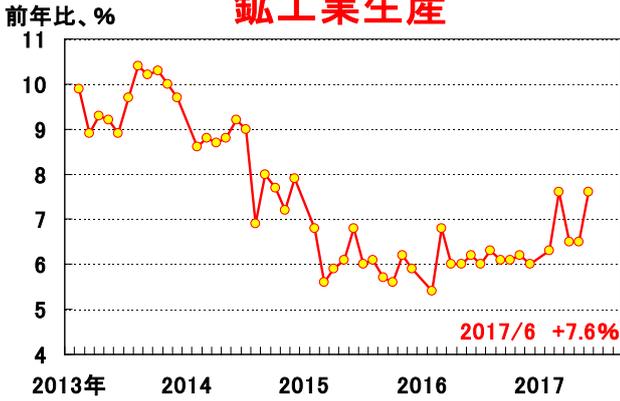


【今月のトピック:急拡大の中国越境EC】中国向けの越境EC(インターネット通販)の取引額は2017年1～6月期に前年同期比46.0%増の2,789億元(約4.6兆円)に上った。近年、中国の中間層の人口が増加する中、海外の商品は品質の高さなどから中国人の間で人気を博している。また2016年4月以降、中国政府は中国人観光客に対して、海外購入商品の関連税率を引き上げ、税関検査も厳格化する一方で、多くの越境EC商品の税率を大幅に引き下げた。こうした政府の関税政策の変更などを受けて、中国人観光客による「爆買い」が下火になった一方、越境ECは堅調に拡大している。

(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

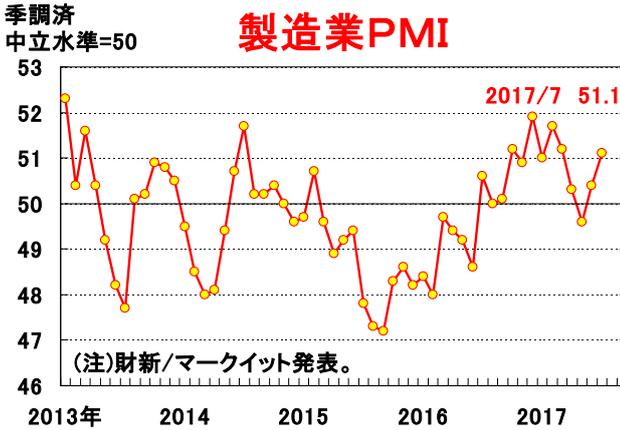
### 鉱工業生産



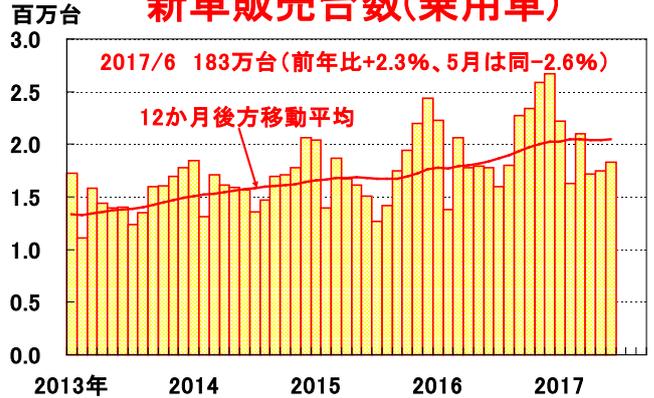
### 小売売上高



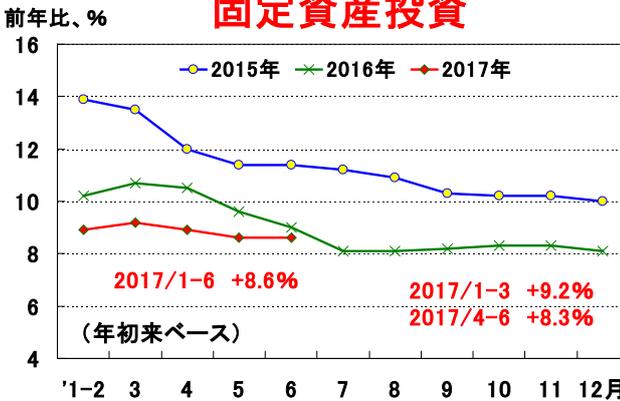
### 製造業PMI



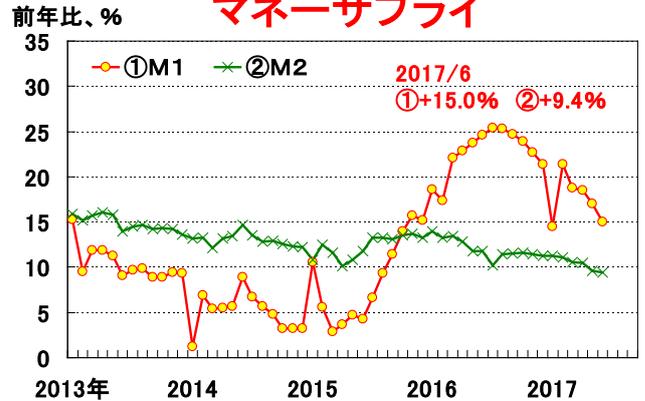
### 新車販売台数(乗用車)



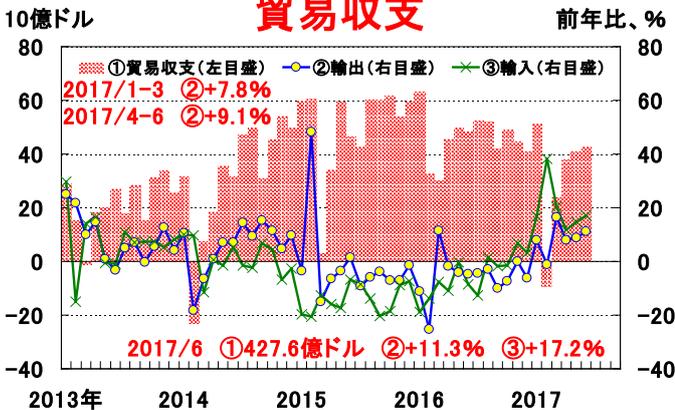
### 固定資産投資



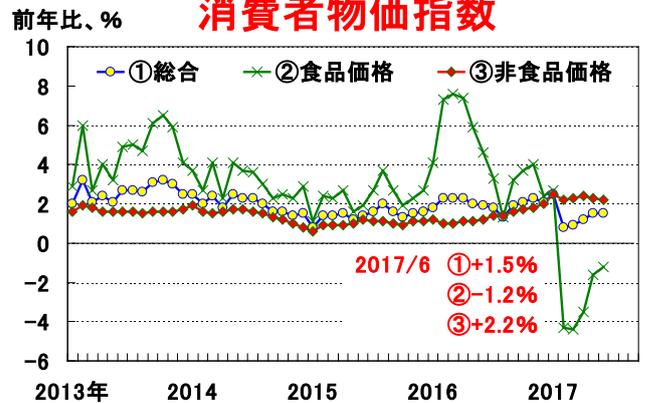
### マネーサプライ



### 貿易収支



### 消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。